

静岡市のココが聞きたい

個人質問



令和4年9月21日と22日の2日間、15人の議員が個人質問を行いました。質問の一部を抜粋してお知らせします。

会派 ※4面以降会派名は略称で表示しています。

- 自民党＝自由民主党静岡市議会議員団(22人)
- 創生静岡(8人、公明党＝公明党静岡市議会(6人)
- 志政会(6人、共産党＝日本共産党静岡市議会議員団(4人)
- 緑の党＝緑の党グリーンズジャパン(1人)
- 街づくり研究会(1人)

語句説明

検討委員会

「サッカースタジアムを活かしたまちづくり検討委員会」のこと。静岡市附属機関設置条例に基づき、令和4年4月1日に設置。市のまちづくりに資するサッカースタジアム等について調査審議する。

清水駅東口・江尻地区ガイドプラン推進

質問者 高木 強 (自民党)

清水駅東口・江尻地区ガイドプランは、次世代型スマートシティを目指したもので、カーボンフリーな水素社会の構築も含めわくわく感満載である。また、ガイドプランの実現に向けては、官民連携は欠かせないが、まずは市がプランを推進していくという強い意志で、都市運営の一つの方向性を示し、関係者の賛同を得ていくべきである。ガイドプランを次期総合計画へ反映し、推進する考えはあるか。

A 4次総において、このガイドプランが示す将来イメージを関係者と共有するとともに、その実現に向けて必要な施策を反映させ推進していく。

新サッカースタジアム建設

質問者 風間 重樹 (創生静岡)

エネオス社は、検討委員会で社有地が候補地の一つとして議論されることを承知しているのか。また当該地における実現可能性はどうか。連携の観点から、県にも委員会に出席してもらうべきである。そして、財源に関する経済界への打診の時期や、民間主導という手法について、商工会議所の理解や協力はどうか。

A 当該地に限らず、候補地として委員会で議論するためには、地権者の事前了解が必要である。そのための作業を進めており、次の段階へ進むのは最有力候補地決定後と考えている。今後オプザバーとして県の参加も想定しており、委員会の一員である商工会議所とは情報共有を図りながら進めている。

官民共創による課題解決への取組

質問者 浜田 佑介 (創生静岡)

民間企業が課題を発掘し、解決に取り組みながら行政とゴールを共有して実現への近道を共に模索し創造する官民共創の時代が目の前に来ている。民間企業と行政が連携することは、市民を含めた三者にとってメリットのある体制づくりに繋がるが、その第一歩がデジタル化の推進である。そこで、DX推進に向けた官民共創の試みが必要と考えるがどうか。

A DXを進めるためには、大学や民間企業などのノウハウやリソースを活かしていく必要があると考えている。

地域発民間主導のコミュニティバス

質問者 白濱 史教 (自民党)

既存公共交通の補完を担うコミュニティバスの多くは、行政主導で運行されている。しかし、長田地区においては、有志がコミュニティバス運行に向けた活動を強力に推進した結果、地元事業者も巻き込んだ試験運行の準備にまで至っている。地域発民間主導の本事業は全国にも類を見ないものであり、本市における新しい公共交通サービスに向けた大きな一歩になると考えるが、市の考えは。

A 地域主体の交通サービスの提供は、地域の課題解決に有効であると期待している。地域と連携して実装に向けた分析を進め、既存交通との調整を図り、長田地区の交通サービス最適化を目指して取り組む。

ランドデザインにおける交通政策

質問者 松谷 清 (緑の党)

葵歴史のまちづくりランドデザインに記載されている江川町交差点のスクランブル化や、静岡駅前国道1号線の横断歩道の設置は、静岡都心の玄関口として風格あるまちづくりに繋がると考える。江川町交差点のスクランブル化への課題と完成時期は。また、静岡駅北口周辺の交通環境改善についてどう考えるか。

A 課題は交差点に流入する自動車交通量を抑制することであるため、更なる交通量の抑制を図り、関係者との調整が整えば、スクランブル化ができるかと考える。駅北口周辺は、国道1号の横断方法や御幸通りの再編などを関係者と意見交換し、歩行者優先の交通環境の改善を図っていく。

大規模災害発生時の帰宅困難者への支援

質問者 児嶋 喜彦 (志政会)

本市は、北部に山、南に駿河湾、東西も川や山に囲まれており、大災害が発生した場合、幹線道路や橋が寸断され、多くの帰宅困難者が発生すると想定される。食料の備蓄が少なかったり、建物の全壊などで建物内に入れなかったりするなど、事業所において従業員を含む帰宅困難者の対応が難しい場合に、市からの物資等の支援はあるのか。

A 事業所で想定以上に多くの帰宅困難者を受け入れた場合や避難期間の長期化、また、受け入れ不可能な場合などの事態が生じた際には、事業所からの要請に基づき必要な支援を行う。

語句説明

清水駅東口・江尻地区ガイドプラン

清水みなとまちづくりグランドデザインで、リーディングプロジェクト(みなとまちづくりを先導する地区)に位置づけた「清水駅東口・江尻地区」が、地区一体で魅力と活力を高めるために、今後概ね20年以内のあるべき姿(可能性)となすべき事(課題)を、一般社団法人清水みなとまちづくり公民連携協議会が提案するもの。



語句説明

DX(デジタルトランスフォーメーション)

情報通信技術の浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること。



経済産業政策における市長の考え方

質問者 丹沢 卓久 (自民党)

本市が抱える社会的な課題をビジネスチャンスに乗せていくという営みでは、行政と民間が課題と目的を共有し、互いが持っているものを提供し合い、リソースやコストを分担しながら課題解決に結びつく新しい仕組みを共に創るという意味での共創が重要である。4次総の策定にあたり、市長は、本市の今後の経済産業政策について、どのような考え方で臨むか。

A 共創は新しい公共経営の実現と方向性の一つにしたものである。あらゆる施策は経済に通ずるとの認識のもと、地域全体で新しい価値を創造していく共創の意識を常に携えながら、4次総全体で経済産業の進化を目指し、力強く取り組んでいく。

語句説明

葵歴史のまちづくりグランドデザイン

静岡都心を対象に、「歴史文化の拠点づくり」と「都市再生に向けたまちづくり」の2つのテーマに重点を置き、およそ20年後の将来像を示すもの。



現在の江川町交差点